

8 承德医学院との学術交流協定締結

承德医学院は、昭和20年に中華人民共和国河北省承德市上二道河子に医学大学として設立された。平成19年現在、専任教員364名を含む教職員700名、看護学部学生1,500名を含む6学部（中医学、看護学、心理学、中薬学、生物医学工学、基礎医学）に6,000名の学生が在籍している。この他、社会科学、公共体育学、臨床学、継続教育学等も学ぶことができる。看護学部は昭和59年に3年制看護短期大学として開設され、平成9年に4年制看護大学へと移行した。

敷地面積は104.54万m²、施設面積21.51万m²であり、5棟の修士課程教育棟、7棟の専門教育棟、6棟の研究棟ならびに8ヶ所の附属病院、54ヶ所の実習病院を持つ。

承德医学院はこれまで、タイ、カナダ、シンガポール、日本（山形大学医学部）の大学と連携をしてきたがこれらの連携は医学部のみで、看護学部との連携はなかった。

平成19年8月24日から29日まで中村恵子副学長とスーディ神崎和代看護学部教授が訪中し、张树峰（Zhang Shu Feng）承德医学院院長とお互いの大学の紹介及び本学と承德医学院との連携へ向けての意向を確認した。また、両教授が承德医学院において特別講義を行った。

平成20年3月2日から4日まで张树峰（Zhang Shu Feng）承德医学院院長、王振方（Wang Zhen Fang）教授、单伟颖（Shan Wei Ying）看護学部長が本学に来訪し、①承德医学院院長による学術交流協定調印記念講演の開催、②学術交流に関する協定書の調印、③今後の提携に係る意見交換、④研究・教育内容に係る情報交換を行った。

【特別講義】平成19年8月27日

会 場：承德医学院

タイトル：「日本の看護学教育について、札幌市立大学の看護学教育」

講 師：中村 恵子（札幌市立大学 副学長・看護学部長）

タイトル：「Current Status of the Elderly and Healthcare System in Japan」

講 師：スーディ神崎 和代（札幌市立大学 看護学部教授・地域連携研究センター産学連携部門委員）

【学術交流協定調印記念講演と調印式】平成20年3月3日

<学術交流協定調印記念講演>

会 場：札幌市立大学 サテライトキャンパス

タイトル：「中国医学に於ける予防医療に関する学術的考察」

－ Academic Thoughts of Preventive Treatment in Traditional Chinese Medicine －

講 師：张树峰（承德医学院 院長・教授）

<学術交流協定調印式>

会 場：札幌グランドホテル

協定内容：①教員及び研究者の交流

②学生の交流

③学術資料、刊行物及び情報等の交換

④共同研究・シンポジウムの実施